

# 中村元記念館通信

2024年3月発行  
第18号

〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地 松江市役所八束支所2階 TEL:0852-76-9593 FAX:0852-76-9693 E-mail:info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp

## 大根島でも！ご自宅でも！

### 「しまね社会貢献基金」で、ハイブリッド配信用機材を導入



▲ 会場での質疑応答の様子も、オンライン参加の方にクリアな音声でお届けできるようになりました♪  
(東方学院松江校 蓑輪先生のハイブリッド講座の様子)

※1 しまね社会貢献基金の助成 → 今回の機材購入費用は、寄附者である島根県電気工事工業組合青年部様が設定された事業テーマ「子育てや社会教育の推進」に、事業名「中村元記念館ハイブリッド(双方向対話可能なオンライン)配信事業」として応募し、審査の結果助成されたものです。

※2 ハイブリッドイベント → 会場(直接参加)と、リモート(オンライン参加)のどちらでも参加できる形のイベントを意味しています。中村元記念館が主催するハイブリッドイベントでは、zoomを使ってオンラインで参加することができます。

これからも、皆様により快適な学びの環境をご提供できるよう、スタッフ一同頑張ります！

## 記念館の講座・イベントへの参加がさらに快適になりました！

**学**びたいすべての人が学べるように、遠方にお住まいの方も、外出が困難な方も、ご自宅から快適に受講できますように。  
中村元記念館では、しまね社会貢献基金の助成(※1)を受け、昨年新たにハイブリッドイベント(※2)開催用の機材を導入しました。今回追加したハイブリッド配信用のマイク、音声ミキサー、モニターにより、教室(会場)・オンラインともにより快適に受講していただけるようになりました。  
また講座での利用だけでなく、秋には年に一度実施する「中村元東洋思想文化賞授賞式」の様子を、会場である中村元記念館からライブ配信し、受賞者

のご家族や指導者の方など、遠方の皆様にもリアルタイムで授賞式の様子をお届けすることができました。  
東方学院松江校講座・中村元記念館文化講座では、以前から一部の先生の講義をハイブリッド形式で実施しておりましたが、手持ちの機材では音声の切り替えが十分に行えず、「マイクをもつ先生の声は聞こえるけど、会場で参加している受講生からの質問が聞こえない」「自宅からだと教室のみなさんと話にくい」という皆様のご不便な状況を改善しきれないのがスタッフの悩みでした。今後はクリアな音声でご自宅からも講師の先生や他の受講生の皆さんとの会話を楽しんでいただきたいと願っています。

### 中村元東洋思想文化賞 第8回授賞式

2023年10月28日 ◇会場・オンライン ハイブリッド開催◇

東洋思想研究を志す大学生・大学院生の優れた論文を広く顕彰し、今後の研究を奨励することを目的として設立された「中村元東洋思想文化賞」も2023年で8回目を迎えました。授賞式で選考委員長である藤井教公館長からひとつひとつの受賞論文に対する講評が述べられると、会場の受賞者ほか来賓・関係者は真剣な様子でじっと聞き入っていました。また授賞式終了後、優秀賞を受賞した伊藤 有佑氏による特別講演「古代インド仏教の論じ方～三十七菩提分法を例にして～」が行われました。「非常に緊張しました」と語られた伊藤氏でしたが、幅広い方が興味を持てるよう随所に工夫がなされた素晴らしい講演でした。



▲ 賞状を手に、喜びの表情で記念撮影に臨む受賞者の皆さん(左から 田氏、伊藤氏、小貴氏) 今後のご活躍が楽しみです！

#### 受賞論文

- 優秀賞: 『菩提分法の研究 —— パーリ注釈文献を中心にして』  
伊藤 有佑(いとう ゆうすけ)氏 (東京大学大学院)
- 松江市長賞: 『徳川後期における「形而上学的共和国」の源流 —— 横井小楠と元田永孚の儒学的視座から』  
田 得霖(でん とくりん)氏 (名古屋大学大学院)
- 奨励賞: 『鈴木大拙『日本的靈性』の成立についての一考察 — 1940年代の西谷啓治の思想との比較で —』  
小貴 稜(おぬき りょう)氏 (中央大学)

受賞論文は、中村元記念館図書閲覧室で御覧いただけます！

※注:受賞者の所属は、論文募集当時(2023年3月)のもので

## 寄付者ご芳名

※受付順



詳しくはこちら！

—中村元記念館の運営は、皆様からのご寄付によって支えられています—  
2023年4月～2024年1月に中村元記念館へご寄付くださった方のご芳名です  
(2024年1月31日までの入金確認分)



### みなさまからの温かいご支援に心より御礼申し上げます

- 能海 川瀬 伊藤 積中 前青 山口 三島 島田 清水 槻西 雲沖 福糸 山長 古木 寺山 笠李 山玉 長和 松米 赤大 山野 野吉 (個人)
- 明瀬 清麻 悟震 祥専 賀弘 俊江 隆輔 生恵 聡アイ 一英 知也 衆一 和浩 勝英 子修 恭子 栄寿 芳郎 愛古 明斌 收明 善永 順子 孝宣 良範 厚生 鐵雄 幸枝 寛美 一成 七絵

- 渡邊 史恵様 吉松 淑恵様 勝部 祐治様 石田 裕子様 植田 道雄様 石田 暁一様 肥後 淳平様 堀江 裕史様 (団体)
- 創価学会様 正蓮寺様(出雲市下古志町) 心身教育研究所様 眞光寺様(松江市奥谷町) 清水寺様(京都市東山区) 浄土真宗本願寺派明顕寺様(出雲市今市町) 華藏寺様(松江市枕木町) 一畑寺様(出雲市小境町) 眞宗大谷派 正心寺様(松江市中原町) 眞宗大谷派 法林寺様(東伯郡湯梨浜町) 株式会社ウエヤマ様 株式会社松文オフトック様 慈眼寺様(出雲市今市町) 宗教法人天王寺様(東京都台東区) 公益社団法人日本弘道会様 株式会社ウツドスタイル様 中浦食品株式会社様 宗教法人 園城寺様(滋賀県大津市) 一心寺様(大阪市天王寺区) 一般財団法人「こうぎん財団」様 カナツ技建工業株式会社様 P.O.O.M学生研修グループ様 株式会社谷口印刷様 島根トヨタ自動車株式会社様 まるなか建設株式会社様 株式会社島根銀行様 株式会社メディアスコープ様

寄付の申込時に匿名を希望された方のご芳名は掲載しておりません。

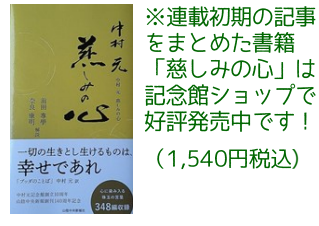
### 中村元 慈しみの心 事業収益寄付

山陰中央新報社様

このたび、山陰中央新報社様より、山陰中央新報一面にて連載中の記事配信事業の収益のうち20万円を中村元記念館にご寄付いただきました。服部育郎先生の解説とともに、皆様も毎朝の「慈しみの心」をお楽しみください。



▲宇畑文化事業局長(右)から寄付を受け取る清水谷理事長(左)



※連載初期の記事をまとめた書籍「慈しみの心」は記念館ショップで好評発売中です！  
(1,540円税込)

- 新和設備工業株式会社様 株式会社ユニコン様 総本山 仁和寺様(京都市右京区) 有限会社酒の模戸天狗堂様 松江土建株式会社様 宗教法人観音院様(大分市大字千蔵) 眞宗大谷派 永泉寺様(松江市寺町) 株式会社伸興サンライズ様 宗教法人清水寺様(安来市清水町) 株式会社工ブリプラン様 浄土真宗本願寺派様(京都市下京区) 島根電工株式会社様 念法眞教様 領法寺様(京都市東山区) 有限会社アエラ地域文化デザイン室様 宗教法人妙法院様(京都市東山区)
- 【中村元東洋思想文化賞のご協賛企業】 一般財団法人さんそ財団様 株式会社ウミライ様 美保テクノス株式会社様 一般財団法人「こうぎん財団」様

発行/2024年3月 発行所/特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所  
〒690-1404 島根県松江市八束町波入2060番地  
TEL 0852-76-9593 FAX 0852-76-9693  
■開館時間:9:30～17:00(入館は16:30まで) ■入館料:無料  
■閉館日:月曜日(定休日)  
夏季休館(8/13～8/15), 年末年始(12/28～1/4), 蔵書整理期間(1/5～1/31)

## 中村元記念館



最新情報は公式ホームページ またはFacebook・Xでどうぞ



# インド交流

## 来館



### 歓迎セレモニー

シビ・ジョージ駐日インド大使  
ニキレシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事



2023年  
6月30日



▲原田氏から作品解説を受ける大使・総領事のお二人

2023年6月、シビ・ジョージ駐日インド大使、ニキレシュ・ギリ在大阪・神戸インド総領事のお二人の来館を歓迎し同年2月にインド国から寄贈されたガネーシャ像前にて歓迎セレモニーを行いました。記念館にはインドの伝統的な模様があしらわれたパッチワークとお二人のメッセージが書かれた色紙が寄贈されました。また大使、総領事両氏は、原田繁昭氏の水彩画展開催を祝い、色鮮やかな水色の民族衣装を原田氏に贈り、長年にわたる日印交流活動への感謝と水彩画展の成功を願う激励のメッセージを伝えました。



▲いただいたパッチワークと色紙は図書閲覧室前の廊下壁面で御覧いただけます



### 原田繁昭水彩画展「魅惑インド」 インド独立75周年記念

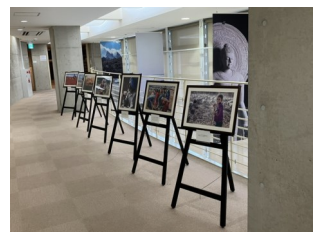
2023年6月27日～7月2日



優しく繊細なタッチで描かれた原田繁昭氏の作品42点を集めた水彩画展を開催しました。同氏は長年、教師として多数の学生を育てながら半世紀以上にわたるインドの人々の暮らしを描き続け、インドとの交流・日印相互理解に情熱を注いで来られました。暑さ厳しい中での開催となりましたが、原田氏は連日会場である記念館を訪れ、来館者の皆さんに丁寧に作品の解説をされていました。

# 企画展

2023年7月11日～9月24日  
「中村元博士 インドへの旅路」  
写真家・三井昌志氏の捉えた「インド」の姿と共に



バスポートや日記など当館で保有する数々の資料を展示し、1950年代から60年代の、中村博士初のインド旅行とその後の再訪の足跡をたどる収蔵品展を開催しました。また関連展示として、ロビーでは中村博士の心を惹きつけたインドの人々・風景を、写真家三井昌志氏の写真で御覧いただきました。三井氏が捉えた鮮やかで印象的な一瞬を閉じ込めた作品に、来館者の方は立ち止まって見入っておられました。

2023年10月3日～12月27日  
「中村元博士の著作ができるまで」  
未公開自筆原稿から辿る



2024年6月30日まで  
原稿展 第2弾  
を開催中です！  
御覧くださいね！



PCCoE来訪  
2023年7月29日  
インド西部マハラシュトラ州ピンブリー・チンチワッド市に設立された工科大学である PIMPRI CHINCHWAD COLLEGE OF ENGINEERING から18名の教員・学生の方が、2024年度東方学院松江校の講義を開講される東京大学加藤隆宏先生の引率で来館されました。一行は講堂で加藤先生の講義を受けた後、展示室をはじめとする館内を見学しました。ちょうど展示室では収蔵品展「中村元博士 インドへの旅路」が開催されており、博士とインドにまつわる多数の資料をご覧いただけました。



松江市立図書館 中央図書館  
出張展示  
2024年1月4日～1月25日



松江市立図書館(中央図書館)の入り口横壁面に設けられた「松江市情報コーナー」にて出張展示を行いました。博士の業績と中村元記念館のことをより多くの方に知っていただく良い機会となりました。

# 文化カフェ

「お茶を飲みながら話してみようか」



大根島のカフェ「すずしろ」さんの絶品ドーナツ♡

今年も第17回、第18回文化カフェ(計2回)を開催することができました。「カフェで紹介のあった本を読んでみるよ」とか、「学芸員さんに説明してもらったら同じ展示でも全然違う見方が出来て、濃さが違った」という嬉しいご意見をいただきました。今後も20回、30回と続けていきたいと思います！

第17回 2023年9月16日  
島田隆輔研究員 講演  
「ふたたび宮沢賢治と青柳亮「松江の人」と。」  
ブックトーク「宮沢賢治の本々子どもの頃」(記念館司書)

第18回 2023年12月9日  
「未公開自筆原稿から辿る 中村元博士の著 クリスマスマスお楽しみ会」(記念館スタッフによるミニコンサート)

第19回 2023年12月9日  
「未公開自筆原稿から辿る 中村元博士の著 クリスマスマスお楽しみ会」(記念館スタッフによるミニコンサート)



クリスマス定番ジンジャーブツッキー

2023年1月31日、2月1日  
講師出前授業



アジアの音楽や楽器を通して違う国の文化に触れてもアراوحー 昨年度に引き続き、今年も中村元記念館文化講座講師の瀬古康雄先生が八束学園で音楽の授業を行いました。今年度は5年生・6年生・8年生の3学年が対象となりました。授業では瀬古ご夫妻によるインドのシタールや中国の揚琴(ヤンチン・ようきん)演奏や、インドの操り人形「カトプトリ」を鑑賞しました。また教室には、瀬古先生が用意した数々のアジア民族楽器が並べられました。学園生は普段目に見えないアジア楽器に触れ、自らの手で音を奏で、それぞれの体験を楽しんでいました。



▲アジア楽器の演奏に聞き入る学園生

### 学園生さん いらっしやい!



昨年度の2年生に引き続き、今年度は11月末に28名の八束学園6年生が記念館を訪れ、学芸員のガイダンスを受けた後、館内を見学しました。また9月末には、「職場体験学習」として最高学年にあたる9年生の男子学生が、展示の準備など記念館スタッフの仕事に2日間にわたり体験しました。これからも豊かな学びの場となるよう、工夫を重ねたいと思います♪

# 地域交流

八束学園 八束学園 八束学園  
アジアカラオケ 出前授業



2023年6月7日  
第11回中村元記念館杯  
グラウンドゴルフ大会  
谷口副理事長が選手の皆さんを激励し、優勝者には記念品として清水谷理事長直筆の色紙が贈呈されました。

